

読書活動

◆図書館の様子（図書館・学習図書館）◆

いろいろな種類の本が本棚に並べられています。子どもたちが静かに落ち着いて、読書することができます。

図書館司書が中心となり、テーマ別コーナーを作り、児童が様々な種類の本に関心を持つよう工夫をしています。

◆学級文庫の状況◆

各教室には、学級文庫があります。

図書館に出向くことなく、本を読むことができ、身近に本を置くことにより、本に親しむ環境を整えています。



◆本の借り方・返し方◆

図書館は、月曜日～金曜日の中間放課と昼放課に開館しています。貸し出しは、1人2冊まで2週間借りることができます。図書委員の子どもたちが、貸し借りの手続きを行っています。本の持ち運びは、一人一人がブックバッグを使い、本を大切に扱います。貸出カードも大切に持ち歩くために、カードケースに入れてブックバッグに付けています。

◆朝の読書の状況◆

毎週木曜日の8時25分から40分までの15分間は、朝の読書タイムです。この15分間は、静かに読書を読みます。

◆読書週間の取り組み◆

毎年、6月・11月に読書週間があります。期間中にボランティアによる読み聞かせを行い、図書に親しむ機会を与え、読書意欲を高めています。

◆家読（うちどく）◆

毎月第3日曜日の「うちどくの日」には、家庭で読書活動を行います。本を読んだ感想を、家読カードに記録しています。

読書週間中の6月・11月の「うちどくの日」には、親子読書を行います。読み聞かせや交互読みなど、家族と一緒にいろいろな読み方で読書を楽しんでいます。